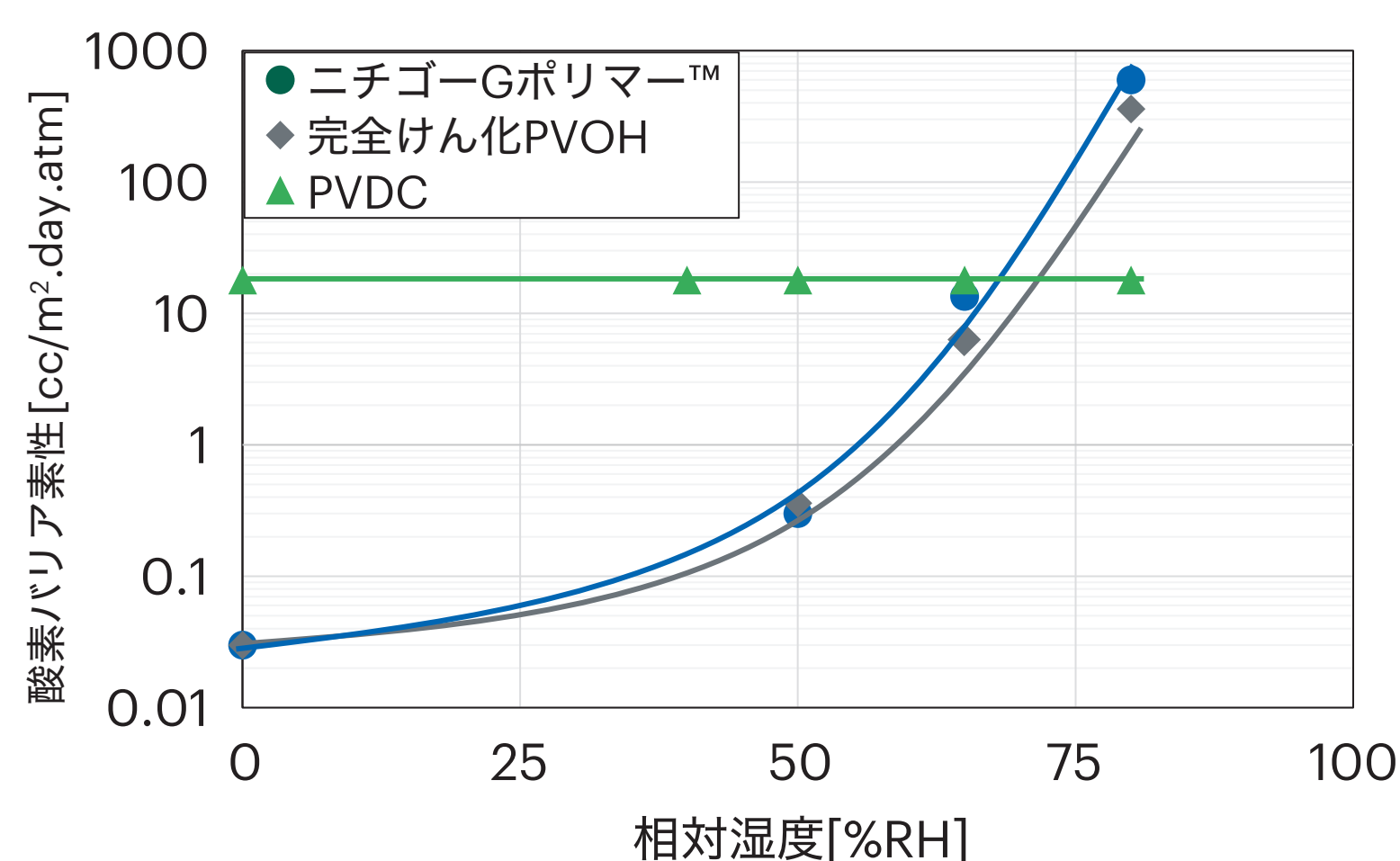


ニチゴーGポリマー™の
バリアコーティング用途

- **バリア性:** コーティングにより、特に低湿度下における高い酸素バリア性を示します
- **溶液安定性:** 一般ポリビニルアルコール(PVOH)と比較して、溶液の粘度安定性に優れます
- **アルコール許容性:** 水/アルコール混合溶媒においても、均一溶解が可能です

ニチゴーGポリマー™のコーティング/溶液特性

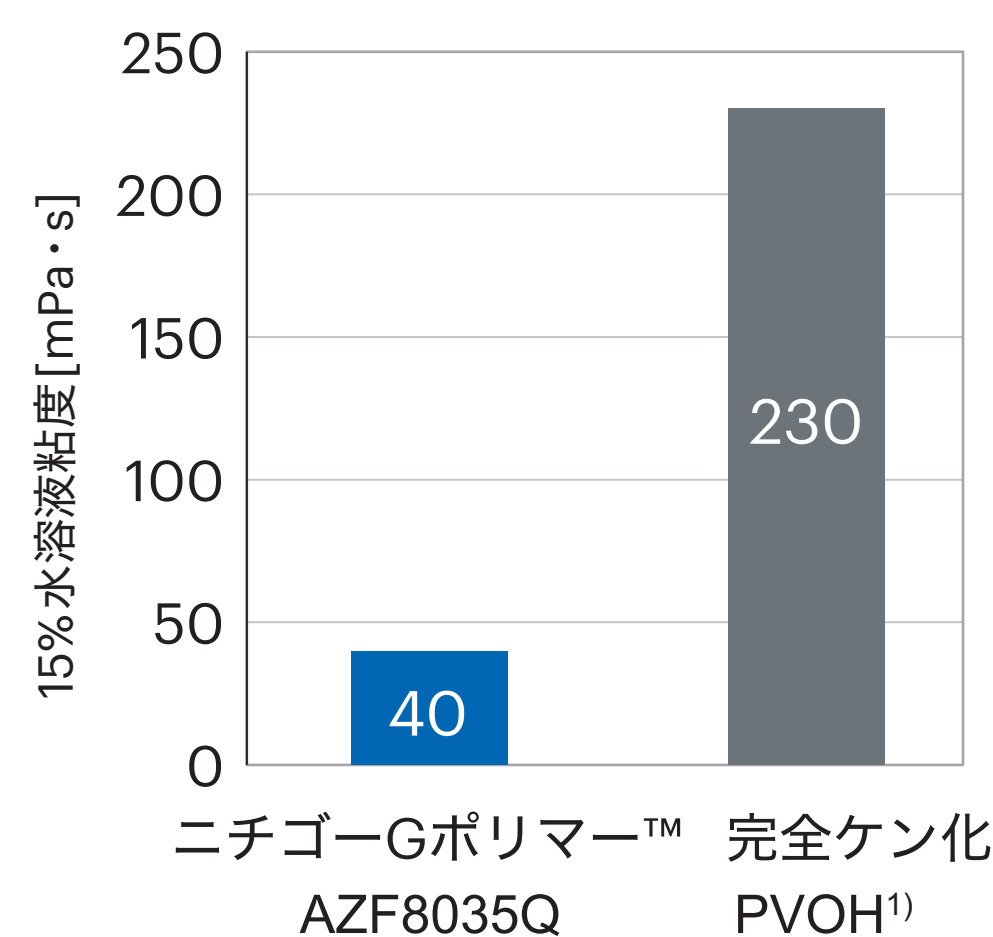
■酸素バリア性



25μmPETフィルムにコーティング後、120°Cx 5分間乾燥し、コーティングフィルムを作成
バリア層膜厚: 約3μm (OTRは、膜厚=1μmの換算値)
ニチゴーG-ポリマー™ BVE8049Q
ゴーセノール™ NL-05

低湿度下において**高い酸素バリア性**を示します

■水溶液安定性

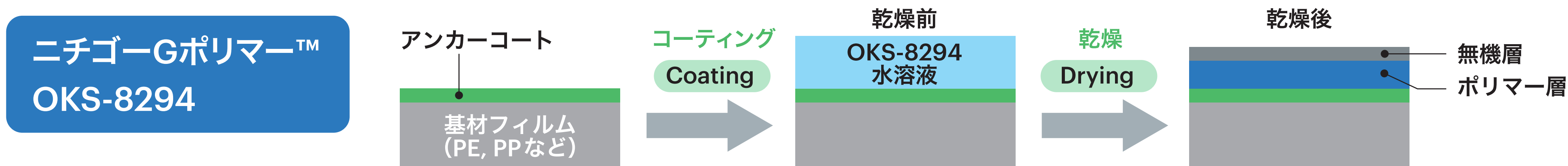


15%水溶液	エタノール40%	IPA40%
ニチゴーGポリマー™ AZF8035Q	○ 均一溶解	○ 均一溶解
完全ケン化PVOH ¹⁾	× 析出	× 析出

15% 溶液を23°Cで3週間保管後の液状態
1): ゴーセノール™ NL-05

完全けん化PVOHと比較して、Gポリマーは約1/6の低粘度です
⇒**高固形分の溶液として塗工**することが可能です
水/アルコール溶媒により、**塗工時の濡れ性/乾燥性**が向上します

高湿度下酸素バリアグレード



OKS-8294は、コーティング表面に無機成分の層を形成することで、PVOHでは得難い**高湿度下酸素バリア性**を発現します
また、同様のバリア性メカニズムによる無機物フリーの開発品グレードについても検討しています

■酸素バリア性

サンプル	酸素ガスバリア性 ¹⁾ [cc 1.5μm/m² day atm] 23°C	
	50%RH	80%RH
OKS-8294	1.5	2.3
開発品A	0.3	3.9
BVE8049Q	0.2	>200
PVDC フィルム	8.9	8.7

1): PET基材(38μm)に10-15%溶液を塗工して80°Cで乾燥させた。

■カットフルーツ保管試験

	OPP/ad/PPP	OPP/AC/BVE8049Q/ ad/PPP	OPP/AC/OKS-8294/ ad/PPP
初期			
1か月 保管後			

食品包装に対してOKS-8294コーティング層を導入することで**食品の日持ちが大きく向上**します

